

健康 よもやま 話



清水 明

膝の激痛で、脚を引きずりながら診察に
来られた70歳女性の患者さん。特に
怪我^{けが}などしてないのに、体重をかける度
に膝の内側が痛く、だんだん膝関節が腫
れてきたとのこと。夜間にも、目が覚める
くらいの痛みがあるようです。

診察をしてみると膝関節に腫れがあり、
痛みで屈伸することもままならない状態
でした。レントゲン検査では加齢による
変化がある以外は、大きな異常はみられ
ません。さらにMRI（磁気共鳴画像装
置^{だいたいこつないか}）検査を行ったところ、大腿骨内顆とい
う膝関節の内側の表面に特有の異常所見
がありました。

これは「大腿骨内顆骨壊死」という病気
です。この疾患の多くは60歳以上の高齢
者に発症します。症状は強い膝の痛み

夜間に強い膝の痛み

や腫れで、特に夜間に痛みがあるのが特徴
です。膝の軽微な骨折や過度な負担など
より、骨への血行が途絶え、細胞が死んで
しまう状態（壊死）が起きるのが原因の一
つと考えられています。病状が進行すると、
徐々に骨が陥没してきます。発症初期はレ
ントゲンでの異常がはっきりしないこと
もあり、MRI検査が有用です。

治療は杖や装具の使用や、炎症を軽減さ
せるために消炎鎮痛剤の内服、関節注射な
どを行います。痛みが強く、これらの治療
で軽快しない場合は、人工関節手術が有用
です。夜間にも強い膝痛がある方は、整形
外科の診察を受けてみることを進めます。

（北國ドクターズクラブ会員・いしぐるク
リニック